

## 近藤 正美 議員

### ラグビーW杯に向けての

#### 「盛り上げ」は

**問** 平成30年度は「盛り上げ」や「おもてなし」の各事業にどう取り組むか。

**答** 小学校でのラグビーの普及や啓発イベントのほか、「袋井市オリジナルファンゾーン」の設置に向けて、本年秋には愛野駅周辺での実証事業やゾーンの具体的策定に取り組みたい。

### 幼小中一貫教育導入後の

#### 検証は

**問** 幼小中一貫教育を導入した後の検証を、いつ頃、何を、どのように行うか。

**答** 定めた評価指標の数値を、平成30年度以降アンケート調査などで定期的に収集・分析し、結果を年2回開催予定の「幼小中一貫教育推進委員会」に報告し、改善につなげたい。

### 中学校英語教員の

#### 言語活動の実態は

**問** 中学校教員の、授業での英語の発話による言語活動の実態はどうか。

**答** 「おおむね、または半分以上」英語で行っている教員の割合は、1・2年生が75%、3年生66%である。今後、英語の使用割合の低い、生徒間のコミュニケーション活動等を重視した指導の改善に努めたい。



ラグビー「日本代表対アイルランド代表」戦の愛野駅周辺の様子（平成29年6月17日）

## 岡本 幹男 議員

### 地方創生交付金関係事業の

#### 総括を

**問** 各事業の地方創生への効果の検証と市政への定着を、完結したもの、継続させるもの、他の予算に引き継ぐものに類型化し考えたらどうか。

**答** 9月市議会に、総合戦略の取り組みの進捗状況、評価指標の達成度、交付金の活用状況の3点を報告していく。

### 袋井市の地域づくり体制は

**問** 地域の社会的資源の活用として、空き家の居場所としての活用や、地域の推薦する人材に介護職員資格取得補助を。

**答** 平成30年度策定の空き家等対策計画に高齢化社会に対応した利活用の方針を示し、軽度者向けヘルパーのお元氣サポーター養成講座に地域からの受講を働きかけたい。

### 浅羽中学校の

#### 建て替え方針は

**問** 幼小中一貫教育の検討で、建て替え時期を遅らせたが、施設分離型によるの方針であり、傘下小学校の統合はないことを確認してほしいか。

**答** 既存の学校施設はそのまま存続し、施設分離型一貫校で取り組む。今後10年間は、校区内小学校の統廃合、あるいは浅羽中学校と小学校の施設の一体化は考えていない。



浅羽中学校